

# 小樽南ロータリークラブ会報

よいことの  
ために  
手を取りあおう



■小樽市長 迫 俊哉様 卓話

## ■ロータリーソング【我らの生業】

## ■ゲストビジター紹介

小樽市長 迫 俊哉 様

## ■会長挨拶【佐藤友美会長】



今日は小樽市長、迫俊哉様、当クラブにお越しいただきまして本当にありがとうございます。迫市長におかれましては、先日、表敬訪問に伺った時に、ぜひ卓話に来てほしいございましたが、まさかこんなに早い時期に来ていただけるとは思わなかつたので大変嬉しい気持ちでお迎えしております。この後どうぞよろしくお願ひいたします。

そして石上新会員ですけれども、お父様お母様がちょうど私の病院の患者様ということもありまして、今日の日を大変私嬉しく思っておりますし、クラブの皆さんも若い仲間が増えることは本当に嬉しい日だなと思っておりますので、どうぞ小樽南ロータリークラブの一員となつて楽しい日々を送ってください。それでは今日も例会よろしくお願ひいたします。

## ■幹事報告

①例会変更のご案内はございません。

②今後の例会予定

8月29日：夜間納涼例会（会場：旅房はなえみ）

※未回答の会員は至急ご連絡をお願いいたします。

9月5日：末廣徳司様卓話

9月12日：早朝例会（会場：天上寺）

③本日例会後理事会がございます。役員理事の皆様、また委員長の方で、報告事項・協議事項お持ちの方は、ご参加よろしくお願ひいたします。

④函館地区大会に関しまして登録案内をメールにて送付済みです。参加希望者は出席のご連絡をお願いいたします。宿泊は各自手配可能ですが、クラブで確保している分を希望される方はご一報ください。

## ■出席報告

## 2025年8月22日

総会員数51名 欠席者15名

伊早坂、太田、工藤、斎藤(英)、佐藤(公)、佐藤(勉)、田中(沙)、  
拝田、馬場、吹田、松尾、松浦、宮川、湊、水谷

## 2025-2026年度 RI 第2510地区目標

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1.会員増強         | 5.女性会員増強      |
| 2.クラブ活性化       | 6.会員研修充実      |
| 3.奉仕活動推進       | 7.紛争予防と平和推進   |
| 4.若い世代とのつながり強化 | 8.ロータリー財団活動強化 |

My Rotary  
2510地区ホームページ  
ICT委員会Facebook  
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針  
Revival (リバイバル)  
~原点に立ち返り、未来への繁栄へ~

●例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日 12時30分

●事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL0134-27-8123

FAX.0134-26-6935

●Club Homepage : URL <https://rid2510.org/otarushouth/>

1960年創立

昭和35年2月5日

2025年8月29日金発行  
通巻第3103号

06

今 8月29日

●納涼例会

週 時間：18時～ 場所：旅房はなえみ

9月5日

●イルサルト代表 末廣徳司様 卓話

週

9月12日

●早朝例会（場所：天上寺）

再来週

## ■新会員入会式及びバッチ授与



石上壽應（いしがみじゅおう）様

天上寺 住職

## ■3クラブ合同ゴルフコンペ開催



8月23日令和7年度の3クラブ合同ゴルフが開催されました。小樽クラブ11名、銭函クラブサポート参加、南クラブは佐藤会長始め、米山会員、山村会員、三栖会員、桂会員、田中沙貴会員、山田佳代子会員、井手会員の8名で参加しました。

結果は優勝が上参郷会員（小樽クラブ）、準優勝三栖会員。団体戦は各チーム上位4名のネットスコアの合計で争った結果5.6ポイントの差で小樽クラブ優勝、南クラブが準優勝となりました。プレー後の懇親会ではカネヒロのジンギスカンを食べ大いに盛り上がりました。南クラブの同好会コンペは残すところ2回となりました。

是非まだ参加出来ていない会員がいらっしゃいましたらご参加をお願いします。

## ■小樽市長 迫 俊哉様 卓話



皆様こんにちは。小樽市長の迫でございます。まず、南口ータリークラブの皆様には、日頃より市政推進へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私は教育部長を務めた後、絵本・児童文学研究センターの会長代行としてポエムコンクール等にも携わっており、長年のご支援に改めて御礼申し上げます。

本日は、市政の現状と今後の方針を簡潔にご報告いたします。私の任期は来年8月25日まで、本年8月26日から最終年度に入りました。2期目の公約である「選ばれるまち・小樽」の実現に向け、観光、民間投資、移住・定住の各面で施策を進め、概ね順調に推移しております。

観光面では、昨年の来訪者数が7年ぶりに800万人を超える、観光消費額も直近1年で1000億円規模へと成長しました。旧日本郵船小樽支店の改修オープン、小樽芸術村の新施設「浮世絵美術館」開業、159室を擁するグランベルホテル開業、8月1日の第3号ふ頭基部における観光船ターミナル稼働開始など、受け皿整備が着実に進んでおります。港内の遊覧船運航は同ターミナルへ順次集約し、「港オアシス小樽」の姿を段階的に具体化します。クルーズ客船は4~10月のシーズンで年間約30隻が寄港し、都心至近という港の立地は船会社から高い評価を受けております。国のクルーズ人口100万人目標(2030年)とも歩調を合わせ、寄港誘致と受入環境の高度化を一層進めます。

民間投資では、銭函地区を中心に企業立地が加速しています。札幌圏の用地制約を背景に、石狩湾新港地域と相まって波及効果が顕著で、造成が追いつかない状況です。都市計画の見直しでは、天狗山・祝津の市街化調整区域において、観光資源の活用を前提とした明確な条件のもと、開発行為を可能にする手続きを北海道へ提出予定です。天狗山ではロープウェイ等の老朽更新を視野に観光開発計画を策定し、民間資金を誘発します。祝津周辺でもホテル整備等の可能性を開き、持続力のある観光都市の基盤を整備します。あわせて、中心市街地の回遊性向上、ナイトタイム経済の創出、MICEの受入強化にも取り組み、滞在の質と消費単価の向上を図ります。

最大の課題は人口減少です。現在約10万3千人の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計で2050年に6万人を下回る恐れがあります。年間約2千人の減少の内訳は、近年、自然減が1,700~1,800人、社会減が200~300人程度へと推移し、社会動態は一定の改善が見られます。出生・死亡は行政で制御し難い側面があるため、転出抑制と転入増加に重点を置きます。昨夏には外国人住民が1,000人を超える、現在も月20~30人のペースで増加(人口比約1%、全国平均2.5~3%)しています。多様な分野で就労が進む中、地域共生の受け皿として、日本語学習支援、母語対応の相

談体制、医療・教育・生活ルールの多言語周知を強化します。家族帯同の増加を見据え、幼保・小中の学習支援員配置や学校と地域の連携を進めます。

移住・定住では、商工会議所内の移住・企業サポートセンターを軸に、張碓・銭函・星野など利便性の高い地域で人口の底堅さが見られます。交通結節点の機能向上、子育て・医療・買物環境の改善、空き家の利活用促進を進め、暮らしの質を高めます。地域交通は、観光と生活の両面で持続可能な運行体系へ見直し、デジタル技術の活用による需要の「見える化」と柔軟な運行を検討します。

公共施設の再編も避けて通れません。総合体育館・プール整備は、先般の入札不調を受け、価格上昇や施工条件等の要因分析を行い、事業手法・仕様・発注分割の見直しを進めます。カーボンニュートラルやBCPの観点を取り入れ、平時の健康増進と非常時の広域避難拠点機能を両立させます。学校再編では、従来の「横の統合」に加え、小中一貫の義務教育学校など「縦の統合」により、地域に学校機能を残しつつ少子化に対応します。避難所・コミュニティ拠点としての役割も踏まえ、丁寧な合意形成を重ねます。

併せて、デジタル化とグリーンの推進を横断的テーマとして位置づけます。行政手続のオンライン化、観光・交通データの統合活用、キャッシュレスやデジタルクーポンの普及を進め、利便性と生産性を高めます。再エネ導入や公共施設の省エネ改修、港湾・斜面地の減災投資により、環境負荷低減とレジリエンス強化を図ります。財政運営は、中長期の投資計画と基金活用の最適化、PPP・PFI等の活用により、持続可能性と機動性の両立を目指します。

観光ボランティアガイドの皆様の活動も相まって、市内回遊の満足度は確実に高まっています。市民・事業者・行政が一体となり、観光の好循環を人口・投資へつなげ、人口減少社会を乗り越える「持続可能な小樽」を実現してまいります。残る任期1年、これまでの取組を着実に前進させ、課題解決に取り組む所存です。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げ、結びといたします。ご清聴ありがとうございました。

## まごころ箱・・・・・・いつも有難うございます！

佐藤(友)会員…迫会長、卓話ありがとうございます。石上様小樽南ロータリークラブによろこび。一緒に楽しいロータリーライフを送りましょう！

荒田会員…迫会長、当クラブの例会卓話をお引き受けいただきありがとうございます。

入金集計額 令和7.7.1～令和7.8.22 (7,000円)

合計214,500円